

# 額賀衆院議長、「インド北東部との人材交流を」

2025/05/06 00:24 日本経済新聞電子版 387文字

【ニューデリー=岩城聡】インドを訪問中の額賀福志郎衆院議長は5日、記者団に対し「アッサム州などインド北東部の人たちとの交流を進めたい」と語った。額賀氏は昨年7月にインドを訪問した際、IT技術者など5万人の人材の交流を同国のモディ首相に提案していた。



記者団との取材に応じる額賀衆院議長Ⓜ（5日、ニューデリー）

インド北東部は日本などの人々に近いモンゴロイド系住民が多く住み、食習慣も似ているといわれる。同州を初めて視察した額賀氏は「アッサム州などは人口も多い。日本人も親近感を持つはずだ」と語った。

今後は介護従事者や自動車のドライバーなど、より広い範囲の人材をインドから日本に受け入れることを目指す。

額賀氏はジャイシャンカル外相と会談し、両国の人材交流を活発化させることで合意。モディ氏には早期に訪日してもらうことを要請した。

経済産業省は2024年度の補正予算で、日系企業の人材の採用や育成をインドで支援する予算を15億円程度計上した。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.

記事のみ印刷

保存BOXに登録

【ニューデリー共同】インドを訪問中の額賀福志郎衆院議長は5日、インドの要人らと同日までに会談し「日本とインドの人材交流を進めていくことが大事」との認識で一致したと述べた。年内と見込まれるモディ首相訪日の際の成果となるよう両国で取り組む方針も示した。首都ニューデリーで記者団の取材に応じた。

額賀氏は「日本は人材が不足している。逆にインドは国外で活躍したいという人が多く、相互補完的に発展に結びついていくことが望ましい」と強調。今回訪問したアッサム州を含むインド北東部に潜在力があると語った。

額賀氏は昨年8月にもインドを訪れ、面会したモディ氏との間で両国間の人材交流の推進を申し合わせた。今後5年間で5万人規模の交流を目標として掲げた。



記者団の取材に応じる額賀衆院議長（左）＝5日、ニューデリー（共同）

## 額賀衆院議長、インドのモディ首相来日を期待 (2025/05/05-22:20)



【ニューデリー時事】インドを訪れている額賀福志郎衆院議長は5日（日本時間同）、記者団の取材に応じ、「モディ首相の一日も早い訪日を期待している」と述べた。

これに先立ち、額賀氏はジャイシャンカル外相と会談し、I T技術者らを対象とした5万人超の人材交流を日印両政府で検討するなど協力関係を進めることで一致した。（了）